

完成した壁画の前で記念撮影する児童や学生ら11日、浜松市天竜区佐久間町浦川地区の子どもたちと静岡文化芸術大の学生が協力して制作した壁画「浦駅舎アトール」が11日、JR飯田線浦川駅舎で披露されました。横5メートル1・1メートルの壁画2枚に浦川の豊かな自然や文化を描き、「浦川が盛り上がってほしい」という思いを込めました。



浜松市天竜区佐久間町浦川地区の子どもたちと静岡文化芸術大の学生が協力して制作した壁画「浦駅舎アトール」が11日、JR飯田線浦川駅舎で披露されました。横5メートル1・1メートルの壁画2枚に浦川の豊かな自然や文化を描き、「浦川が盛り上がってほしい」という思いを込めました。

地元の子どもと大学生

山あいの駅 壁画で彩り

JR飯田線・浦川駅

地元企業や同大の学生らでつくる「シン・サクマ計画」の企画です。駅舎に壁画を設置して地域の魅力を発信しようとして、企画を立ち上げました。4月から7月の間に児童と学生が数回集まり、絵を描く作業を進めました。

浦川まつりの花火や川の風景を描いた絵と、浦川歌舞伎と電車を中心にした絵を駅舎の上部に設置しています。制作に関わった佐久間中1年の樽松里哉さんは「静かだった駅を絵で明るくできたうれしい」と話しました。

(水窪支局・大沢諒記者)



浦川歌舞伎と電車を中心に描いた壁画